

● みなとづくり

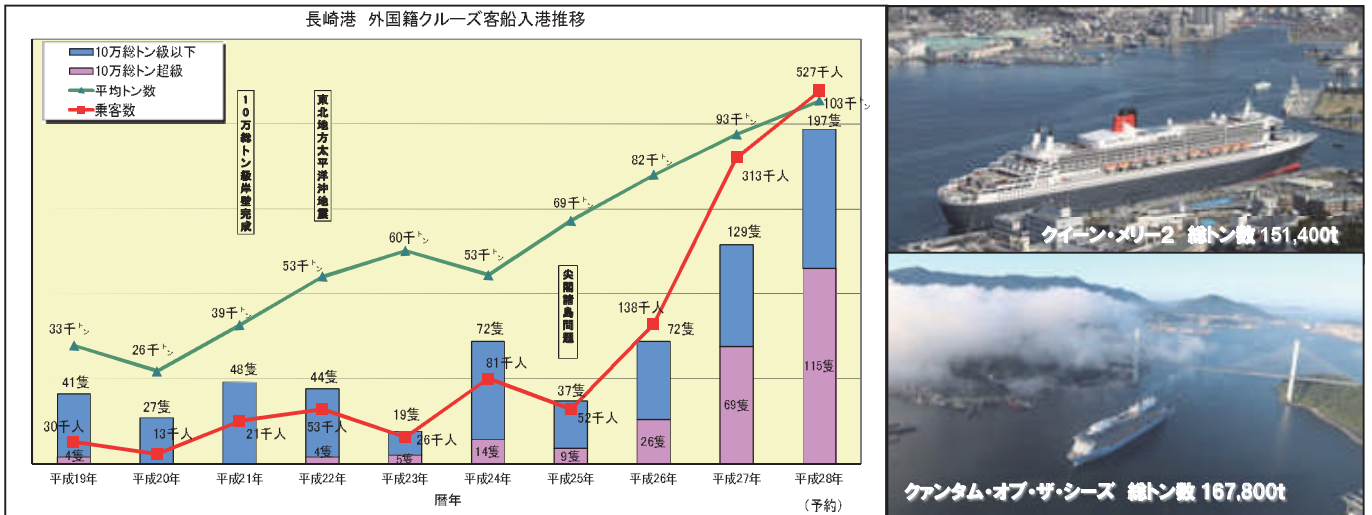
1 クルーズ観光の拡大を図り長崎の経済を活性化 問合せ先 港湾課

長崎港は、近年、観光産業への経済波及効果が期待できる大型クルーズ客船の入港が急増しています。このため、平成28年度は大型クルーズ客船の更なる寄港数の増加に対応できる松が枝埠頭の拡張を実施することを目指します。

● 長崎港への要請

平成28年は過去最高の約**200隻**の入港、約**53万人**の上陸を予定。寄港船舶は、年々増加・大型化の傾向で、今後も増加傾向の見込み。

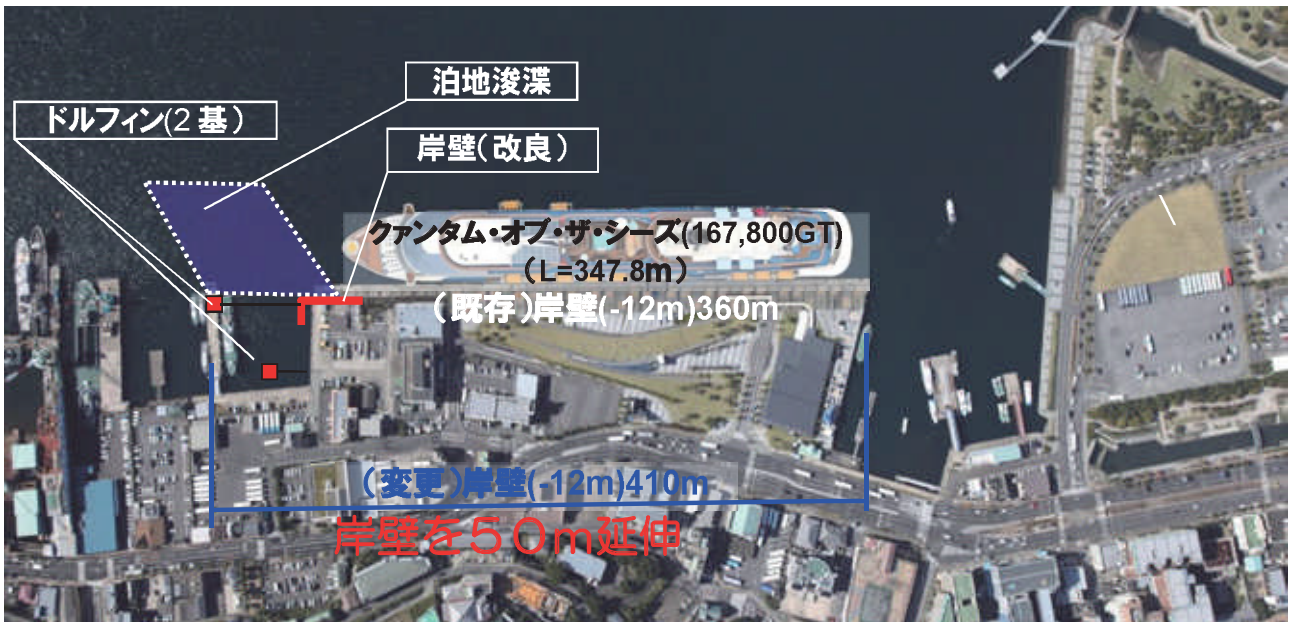
クルーズ客船の受入機能の強化が求められる



● クルーズ客船の受入機能の強化

① クルーズ客船の大型化に対応するため、岸壁の延伸を行います。

10万総トン級 1 バース → 15万総トン級 1 バース



② SOLAS 警備の拡充を図り、増加するクルーズ需要に対応します。

- ・ 監視カメラや仮設フェンスなどの設置を進め、**人的警備を補完**します。

(埠頭内警備状況)



(ターミナル内警備状況)



● 今後の受入体制の改善

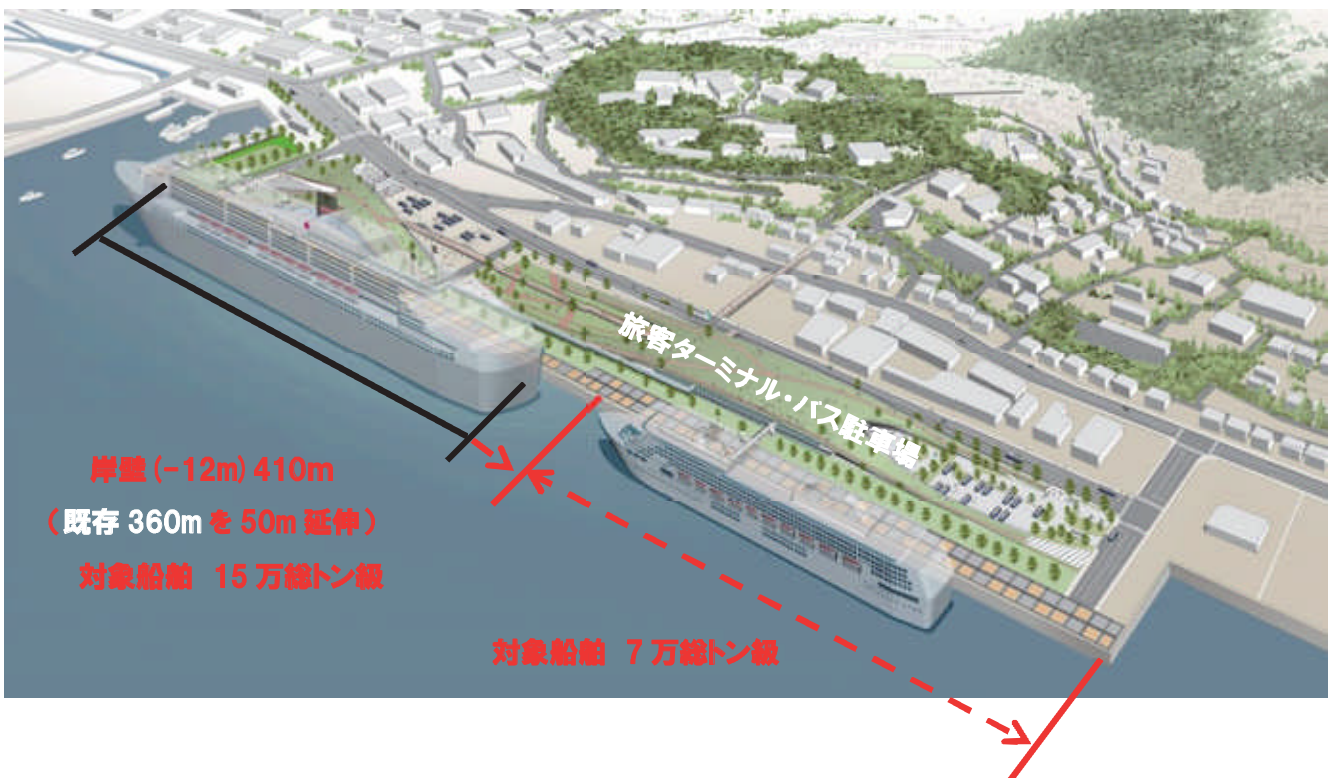
更なる寄港数の増加に対応するため、**新たな岸壁を整備**し、**受入体制の更なる強化**を図ります。

10万総トン級 1 バース、駐車場分散

15万総トン級 1 バース+7万総トン級 1 バース
駐車場を岸壁背後に集約

(整備効果)

- ・ 15万総トン級客船の安定係留、10万総トン級客船が2隻同時係留可能
- ・ 客船から駐車場までが直結し、利便性・安全性が向上



2 離島・半島等の暮らしを支える地域交通の確保

問合せ先 港湾課

離島と本土等を結ぶ定期航路の安定的な海上運輸活動を支え、安全・効率的で利便性が高いみなと整備を進めます。

口ノ津港の定期船埠頭整備



整備前



老朽化した施設を更新し、**効率的で安定した**輸送手段を確保

厳原港の埠頭再編(旅客埠頭の整備)



事業概要

事業主体：長崎県・国土交通省・対馬市
 事業期間：平成15年度～平成34年度完成目標
 総事業費：約75億円

埠頭再編整備による旅客船利用者の**満足度向上**を目指します。

近年、対馬への韓国人観光客が**著しく増加**している。
 ※平成27年は**過去最高**の約21.7万人

観光客で賑わいを見せる埠頭(厳原港)

